

沢の中程は倒木が多く、またぎながら進む。やがて1~2mの小滝が連続したあとに7mの滝が出る。これは直瀑なので、右岸のやぶを高踏く。

すぐ二俣。左俣には10mの滝があり面白そうだったが、水量の多い右俣をつめる。こちらはブッシュが多く、だんだん急登となる。水が濡れた頃から、垂直に近いくらいの壁をブッシュにつかまりながら登り、尾根に出て日陰ゴミ沢の遊行を終える。

(記・

【タイム】 日陰ゴミ沢出合(9:20)→二俣(10:05)→尾根(13:55)

日陰沢

日陰ゴミ沢左俣右沢

1984年7月29日

L

秋遠沢左俣の遊行を終えて尾根に出たのが9時30分。このまま下るのもつまらないということで、日陰ゴミ沢左俣右沢を下降し、左沢を遊行してから秋遠沢右俣を下降しようということになって、9時40分下降開始。

5分くらいのヤブこぎで沢に降りる。しばらく下降すると、ナメ状の小滝が次々と現われる。すべてクライミングダウン。登って見たらおもしろいだろうと考えながら下る。

左沢出合で小休止後、二俣まで下降。5~10mの小滝が続くがすべてクライミングダウンできた。11:15下降終了。

(記・

【タイム】 下降開始(9:40)→左沢出合(10:50)→右俣出合・下降終了(11:15)

